



中春別小学校
学校便り

窓

第1号

発行責任者 校長 若松 正
令和5年4月6日 発行

聴く・考える・伝える力に磨きをかける

中春別小学校の令和5年度がはじまりました。今年度は14人の新1年生が中春別小学校に仲間入りし、中春っ子87人でスタートします。ご入学・ご進級おめでとうございます。1年間の学校生活にはいくつかの節目がありますが、年度の初めは中でも大きな節目になります。新しい学校での生活が始まる新1年生にとってはもちろん、1つずつ学年が進級した2年生以上の児童の皆さんにとっても新学期は希望に胸膨らませる大切な季節です。小学生になったらやってみたいこと、進級したら頑張りたいことなど、たくさん目標を胸に思い描いていることと思います。

目標を大切にしてほしいという願いから始業式のときに子どもたちに次の3つのお願いをしました。

- 1つ目は目と耳と心、そして言葉を十分に使って、ともだちとかかわってほしいこと。
- 2つ目は想像することを楽しめる人でいてほしいこと。
- 3つ目は目標をいつも心に留め、実現に向けて時間と努力を惜しまない人でいてほしいこと。

とくに想像することについて空想科学作家の言葉、「人が想像できることは、人がかならず実現できる」を引用して、「想像」には発明だけでなく、素敵な学校にしていく力、人にやさしくする力、なりたい自分になる力があるので、「したい」「なりたい」をたくさん思い浮かべてほしいと話しました。

すべての学年にいえることですが、子どもたちにとってその学年で過ごせるのは一生のうちで「今」しかありません。とくに6年生たちには小学校生活最後の一年、最上級生として学校の看板を背負うという責任の重さもあり、その決意もひとしおのことと思います。活躍を楽しみにしています。

87人のはじめの一步です。今の気持ちを忘れずに、限られた時間をめいっぱい大切に使って、胸にある目標を叶えるための時間に、さらには新しい夢を見つける時間にしてほしいと思います。子どもたちにとっての「今」という一期一会の大切な時間が有意義な充実したものになるように、職員一同真摯に向き合い支援して参りたいと存じます。

お便りの表題は、中学校と共有している取組の重点をあらわしたスローガンです。この目標をもとに小学校では、今年度「傾聴し、心で感じ、応える子どもの育成」を目指します。そして子どもたちには挨拶、勉強、仕事、言葉を通して自分自身を大事にするとともに人とのつながりを大切にできるようになってほしいという願いから、この4つの鍵となる言葉を意識して教育活動に臨みたいと考えています。

- あいさつ 人とのかわりを大切にし、人とつながろうとする子
- べんきょう 他の人の意見と自分の意見を紡ぎ合わせ、考えをふくらませようとする子
- しごと みんなとともに みんなのために 行動しようとする子
- ことば 自分の考えや気持ちに寄り添う言葉（態度）を見出そうとする子

地域・家庭と学校が同じ理念のもと協働してまいりたいと存じます。これまでと同様、保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

前庭に広がる芝の茶に混じる新芽の緑。しばらくは新旧がちらほらするこの頃。日毎はやくなる差し込む朝日。爽やかな風が運んでくる生命の香りが鼻先をくすぐる春間近ですが、しばしは花冷えの折、どうぞお体にご留意いただければと存じます。令和5年度もよろしく願いいたします。